

未来に響く Vol.7 エコ・ワード

ニュースで耳にする環境「ワード」。
明日への行動につなげてみよう。

問 環境政策課 / Tel674-7486

問題 環境のために「フリマアプリ」でできることは？

- A ごみの量を減らすことができる
- B 資源が節約できる
- C 無料でモノを手に入れることができる

答え A ごみの量を減らすことができる、B 資源が節約できる

解説

「フリマアプリ」はフリーマーケットアプリケーションの略で、スマートフォンなどを活用して個人の間で物品の売買を行うことができるプログラムを言います。

欲しいモノをお得に購入できたり、自分にとって不要になった物を手軽に販売することもできたりするため、利用者は年々増加しています。

お得だけじゃない！ リユースでごみを減らそう

お得な利用方法が知られるフリマアプリですが、資源の消費やごみの発生を減らし、循環型社会の実現にもつながっています。

たとえば、子どもの服やおもちゃなどは、子どもの成長とともに使用しなくなりますが、フリマアプリを使うことで他の人に再利用してもらうことができるかもしれません。そうすることでごみの発生や資源の消

費を減らすことにもつながります。

物を捨てるときや新しい物が必要になったときに、フリマアプリをはじめとしたリユース(再利用)を考えてみませんか。

※利用の際はルールを必ず守りましょう



淀川沿いの遺跡

近畿地方の中枢部を流れる淀川は、その流域の歴史・文化を育んだ悠久の大河です。また、鉄道が整備される明治期までは、豊富な水量と緩やかな河床勾配を利用した舟運により、人や物資が行き交う交通の大動脈でした。

近年、新名神高速道路の建設に伴う発掘調査によって、市東部の上牧や梶原で、重要な発見が相次ぎました。現地は淀川に安満山山塊が迫り、平野部は広くはありませんが、今から約2,100年前の弥生時代中頃に、周囲に溝をめぐらせた墓が築かれ、1,800年前～1,400年前の古墳時代には、大規模な集落が出現し、人々の生活の場でありました。地元

で作られた土器のほかに、吉備(岡山県)や阿波(徳島県)など、遠方の土器が出土し、朱(水銀朱)の精製や、玉の生産に関する資料、古墳時代の祭りに用いられた土器や玉も出土しています。また、古代山陽道の管理施設「大原駅(おおはらのうまや)」の候補地とされる梶原南遺跡からは、奈良時代の大型の倉庫跡や立派な木組みの井戸が見つかり、青銅製のベルト金具や墨書土器(文字を記した土器)など、官人の存在を示す遺物も出土しました。

これらの成果は、地域の窓口や遠方との交易、交通の結節点として、川津の機能を持つ集落が早くから営まれ、さまざまな物資、人々が行き交

い繁栄していたことを物語っています。

(今城塚古代歴史館)



古墳時代中頃(今から1,600年前)の祭りの道具(井尻遺跡)

たかつき歴史アラカルトの